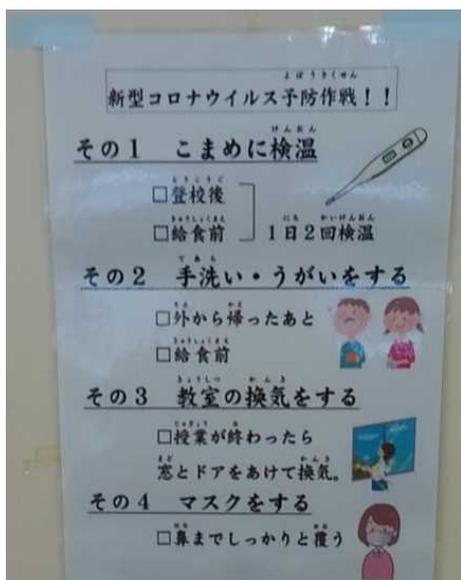


「当たり前前のごことに感謝する」

- 大都市を中心に新型コロナウイルス感染症が拡大している中、4月6日に新年度がスタートしました。冬にタイムスリップしたように雪が舞う寒い中、マスクを着けた子どもたちが元気に玄関に入ってきました。体調を崩したり、精神的に不安定になったりする子どもがいるのではないかと心配しましたが、在校生全員が登校したことに安堵するとともに、校舎にいつもの活気が戻りました。

- 学校再開は、見えない敵「新型コロナウイルス感染症」との闘いのスタートでもあります。子どもたちは笑いの天才と呼ばれた志村けんさんの死去を通して、コロナウイルス感染症をより身近な問題として捉えているようでした。



- かづの校では各教室に、「新型コロナウイルス予防大作戦！」を掲示し、全校で感染予防に取り組んでいます。

作戦その1	こまめ検温（登校後・給食前）
作戦その2	手洗い・うがいをする
作戦その3	教室の換気をする
作戦その4	マスクをする

見通しがもてない不安な日々が続きますが、子どもたちが「やらされる」のではなく、自ら意識して感染予

防対策を実践できるように、実態に合わせた保健指導（正しいうがい・手洗いの仕方、手作りマスクの作り方等）を計画したいと考えています。

- 病気になったとき、健康のありがたさに気付くように、臨時休業になってはじめて、子どもたちが毎日登校する当たり前前のごことがいかに幸せであるのか、その価値に気付かされました。私たちは、当たり前前のごことに感謝しなければならないと思いました。新型コロナウイルス感染症から子どもの命を守るとともに、子どもたちが「明日も行きたいと思える学校」づくりを目指していきます。



【高等部廊下の掲示】